

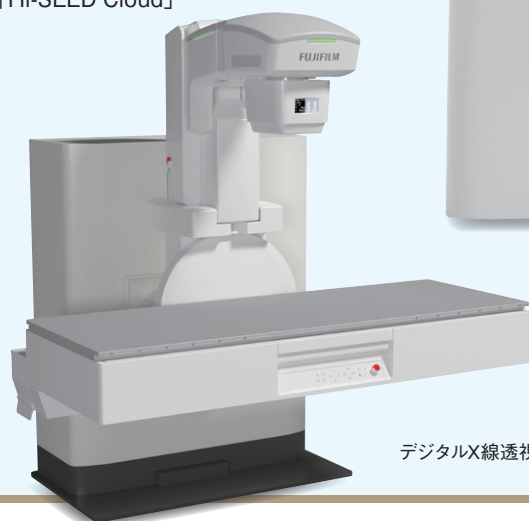
富士フイルムヘルスケア

<https://www.fujifilm.com/fhc/ja>

NEVER STOP ONE FUJIFILM 医療のいちばん近くから、次代を見つける。

【主な紹介製品】

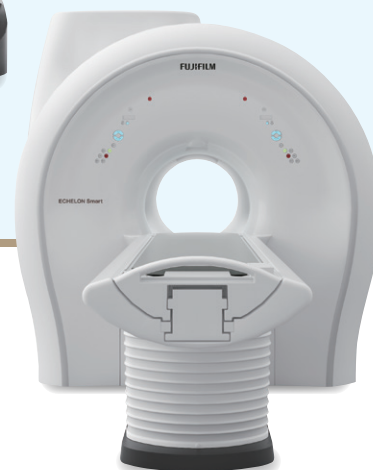
- CTシステム
「SCENARIO View」 「Supria Optica」
- MRIシステム
「ECHELON Smart Plus」
- 回診用X線撮影装置
「Sirius Starmobile tiara」
- 超音波診断装置
「ARIETTA 850 DeepInsight」
- 骨密度測定装置
「ALPHYS LF」
- 電子カルテ
「Hi-SEED Cloud」



デジタルX線透視撮影システム



SCENARIO View



ECHELON Smart PLUS

◆CTシステム

SCENARIO View/ Supria Optica

「SCENARIO View」と「Supria Optica※1」を展示する。AI技術を活用して開発した画像処理機能IPV※2と検査効率向上技術SynergyDrive※3を中心に、それらを構成する機能群や、最新の臨床画像を紹介する。

◆デジタルX線透視撮影システム

新被ばく低減プログラム IntelliDOSE 新世代画像処理エンジン VISTABRAIN

「被ばく低減」と「高画質」の両立をめざし、多目的な検査を可能にしたデジタルX線透視撮影システムを展示する。

新被ばく低減プログラム「IntelliDOSE」、新世代画像処理エンジン

「VISTABRAIN」による透視画像の視認性の向上や細部の明瞭化などの高画質化を紹介する。

また、被ばく低減の1つとして、手技中の散乱X線を防御する、IntelliCURTAINを展示し、手技中のイメージ・着脱を確認できる。

◆超音波診断装置

ARIETTA 850 DeepInsight/ ARIETTA 650 DeepInsight

AI技術を活用して正確性、再現性、効率性、視認性を高めたこれからの超音波画像の理想形をDeepInsightと名付けた。

この理想形の実現に向けて、AIを活用して開発した新しいノイズ除去技術を「DeepInsight技術」とし、初めて搭載した「ARIETTA 850 DeepInsight」、 「ARIETTA 650 DeepInsight」の2

機種を展示する。

このDeepInsight技術により、これまで区別が難しかったスペックル信号と電気ノイズを高い精度で区別し、ノイズだけを適切に除去することで、体内深部の診断においても、鮮明な画像を提供できるようになった。

※1 Supria OpticaはSupriaの64列検出器かつ2MHUのX線管装置搭載モデルの呼称。

※2 IPVはIterative Progressive reconstruction with Visual modelingの略称。AI技術のひとつであるMachine Learningを活用して開発した機能。導入後に自動的に装置の性能・精度が変化することはない。

※3 SynergyDriveはワークフロー向上技術の総称。AI技術のひとつであるMachine Learningを活用して開発した機能を含む。導入後に自動的に装置の性能・精度が変化することはない。